

令和5年度入学試験問題

総合問題

注意事項

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. この冊子は全部で16ページあります。
3. **I** , **II** , **III** , **IV** の全4問に解答してください。
4. それぞれの問題について解答用紙が配布してあります。この他に下書用紙も配布してあります。解答用紙には受験番号を記入する欄がありますが、下書用紙にはありません。間違えないようにしてください。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に入力してください。決して氏名を書いてはいけません。
6. 算用数字とローマ字は解答用紙の1マスに最大2文字まで書くことができます。
7. 試験終了後、解答用紙を回収します。
8. 問題冊子と下書用紙は持ち帰って下さい。





I 次の文章を読んで、設問に答えなさい。なお、語注を角カッコ内に示した。

(配点 100 点)



(Why is emotional intelligence important for students?, The University of Queensland, <https://future-students.uq.edu.au/stories/why-emotional-intelligence-important-students> および Emotional Intelligence (EQ) and Leadership, Norwich University, <https://online.norwich.edu/academic-programs/resources/emotional-intelligence-eq-and-leadership> より。改変あり。)

問1 文意が通るように、正反対の意味を持つ英単語をAとBに一語ずつ入れなさい。(配点10点)

問2 EIのひとつである共感は本文でどのように説明されているか。日本語35字以内で書きなさい。(配点20点)

問3 下線部 these findings の内容を日本語75字以内で要約しなさい。(配点30点)

問4 本文によれば、教育の現状にどのような問題があるとされているか。日本語35字以内で簡潔に述べなさい。(配点20点)

問5 本文全体の主旨と同じになるように、次の英文のXとYに英単語を一語ずつ入れなさい。(配点20点)

"It is ( X ) enough to be smart. To have the added advantage for success, students must also be able to understand and manage ( Y )."



## II

次の文章を読んで、設問に答えなさい。(配点 100 点)

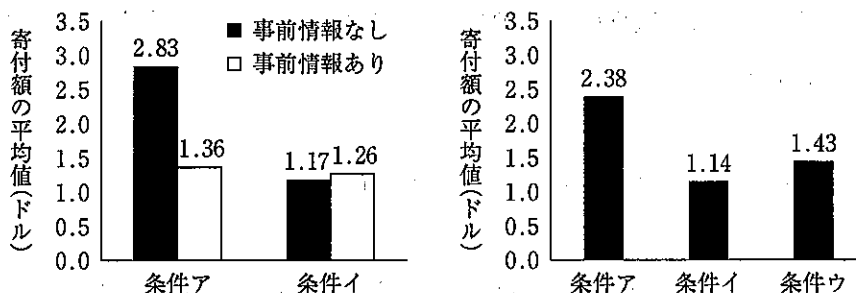
共感とは、悲しんでいる人の近くにいると自分まで悲しくなるといった、他者の経験を観察する個人に生じる反応のことであり、一般に情動的共感と認知的共感に分けて考えられている。情動的共感とは、無意識的、自動的に他者の感情を自分のものとして経験することをさすのに対し、認知的共感とは、他者の感情を理解するプロセスのことをさす。

共感は、他者との絆を強めるなど、一般的によいものと考えられる。しかし、心理学者のブルームは、共感のうち、情動的共感は、非合理的な判断や不公正な判断を導き、ときに無関心や残虐な行為を動機づけることがあると主張している。例えば、欠陥のあるワクチン接種によってある8歳の少女が重病にかかったというニュースを目の当たりにすると、その少女に対して多くの者が共感を覚えるだろう。しかし、ワクチン接種を中止すれば、数十人の子供が死ぬことになると言われても、統計的な数字には共感を覚えにくいいため、結果としてはワクチン接種に対する否定的な意見が殺到することになるだろう。このように、共感はある特定の人々に焦点を絞らせ、共感の対象とならない人々の苦難に対して盲目にするのである。

心理学者のスモールたちは、このような共感による非合理的な判断を示唆する一連の実験を行っている。実験は、最初に実験参加者に対して簡単なアンケートへの協力を求め、回答が終わった後、謝礼として1ドル紙幣5枚を渡すとともに、食糧不足で苦しむ南アフリカ・エチオピアの子供たちへの寄付の依頼状を渡し、寄付してもよい金額(0ドル, 1ドル, 2ドル, 3ドル, 4ドル, 5ドルのいずれかを選択)を尋ねるというものであった。実験Aでは、依頼状とともにロキアという7歳の少女の写真とプロフィールを提示する「条件ア」と、依頼状とともにアフリカ諸国において食糧不足が危機的状況にあることを示す客観的統計情報を提示する「条件イ」という2つの異なる条件を設定した。その際、それぞれの条件の実験参加者の半分には、「人間は統計的情報よりも特定の個人に関する情報に影響を受けやすい」という事前情報を伝え、もう半分にはこの事前情報を伝えなかった。次に、実験Bでは、実験Aの「条件ア」と「条件イ」に加え、それぞれの条件で提示する情報を同時に提示する「条件ウ」を設定した。実験の結果を図1に示した。



図1 スモールたちの実験の結果(実験A：左，実験B：右)



(Small, D. A., Loewenstein, G., & Slovic, P. (2007). Sympathy and callousness: The impact of deliberative thought on donations to identifiable and statistical victims. *Organizational Behavior and Human Decision Processes*, 102, 143-153. より。改変あり。)

表1 日本の大学生 50 名を対象とした実験結果(条件アと条件イのみを設定)

	寄付額					
	0 円	100 円	200 円	300 円	400 円	500 円
条件ア	4 人	2 人	5 人	5 人	6 人	3 人
条件イ	8 人	11 人	3 人	0 人	2 人	1 人

※寄付額は 0 円, 100 円, 200 円, 300 円, 400 円, 500 円のいずれかを選択

問1 表1は，スモールたちの実験と同じ実験を日本の大学生 50 名を対象に行った結果である。このデータにおいて，条件アの寄付額の平均は，条件イの寄付額の平均の何倍かを求めなさい。(配点 20 点)

問2 スモールたちの実験の結果から，共感による非合理的な判断はどのような状況において生じやすく，どのような状況において生じにくいと考えられるのか。実験Aと実験Bそれぞれについて，実験結果を簡潔にまとめながら 150 字以内で説明しなさい。(配点 40 点)

問3 ブルームの言う，情動的共感が非合理的な判断や不公正な判断を導いていると考えられる事例を，文中に挙げたもの以外で一つ挙げなさい。そして，その事例において，なぜ非合理的な判断や不公正な判断が生じたと考えられるのかを解説しなさい。150 字以内でまとめること。(配点 40 点)

- Ⅲ 次の文章は、江戸時代の儒学者伊藤仁斎(1627-1705)・伊藤東涯(1670-1736)父子の思想について説明したものである。これを読んで、設問に答えなさい。
- (配点 100 点)





(渡辺浩『日本政治思想史 十七～十九世紀』東京大学出版会, 2010年, 135-152ページより。改変あり。)

問1 この文章が示す伊藤仁斎・東涯の思想によれば、人はなぜ「共感」と考えられるだろうか。全体を読んだ上で、25字以内で簡潔に述べなさい。

(配点 20点)

問2 この文章が示す伊藤仁斎・東涯の思想によれば、個人の感情と集団の選択はどのような関係にあるだろうか。全体を読んだ上で、50字以内で述べなさい。(配点 30点)

問3 この文章の著者は、伊藤仁斎・東涯の思想について「甘い人間観だろうか」と批判があることを予想している。では、仁斎・東涯の思想のどの部分に、前提条件や論理における欠陥や欠落があり、批判を受けると考えられるだろうか。300字以内で述べなさい。なお、自分の個人的な体験をもとにした解答は採点の対象としない。(配点 50点)

**IV** **I** ~ **III** で示されたように、「共感」については様々な評価がある。では、「共感」は良いものであるか、あるいは悪いものであるか、あえてどちらか一方の考えを選び、具体的な事例を挙げながら 500 字以内でその考えの正しさを説明しなさい。なお、良いものでも悪いものでもあるという中間的立場の解答は認めない。(配点 100 点)













